

ユニバーサルデザインに配慮したイベント開催の主な留意点

山口県健康福祉部厚政課

1 構想・企画

(1) 意見聴取等

- 高齢者や障害のある人などの参加状況を、可能な限り事前に把握する。
- 高齢者や障害のある人、子ども等の参加するイベントでは、当事者やその介護者等から意見を聴取する。

(2) 会場選定

- 会場の選定に当たっては、ユニバーサルデザインに配慮された（バリアフリー化された）施設や公共交通機関の整備状況等を考慮する。

2 情報提供等

(1) 広報の時期・方法・内容

【時期】

- 十分な広報・周知期間をとる。

【方法】

- イベント内容に関する情報提供を効果的かつ的確に実施する。
- 活字媒体、電波媒体、インターネットの活用など、幅広い手段で確実に情報提供を行う。

【内容】

- 開催日時、場所、内容、参加方法、問い合わせ先等を明確に記載する。
- カタカナ語や専門用語を避け、わかりやすい言葉を使用する。
- 交通手段の案内や会場案内図に記載する。
- 手話通訳や要約筆記、託児など各種サービスの案内を行う。
- 会場までのアクセス情報を提供する。
- ポスター、パンフレット、チラシ等の文字は、高齢者や視力の弱い方にも見やすい色や大きさとする。

(2) 参加申込み方法等

【方法】

- 郵送の他、ファックス、インターネットでも受け付ける。

【内容】

- 各種サービスの必要数を事前に把握する場合は、参加申込書等で希望をとる。
- 参加申込書等には、不必要な個人情報の記載を求めない。
- 参加者の氏名などの個人情報は、厳重に管理する。

3 配布資料の作成

- 文体は平易なものとし、簡潔でわかりやすい表現にする。
- 大きな文字や見やすいフォントを使う。
- 文字と背景の明暗や図表・イラストの解像度、色彩などを、はっきり見やすくする。

4 会場までのアクセス

(1) 公共交通機関の運行状況等

- 主要駅からの公共交通機関の便（ダイヤ、本数等）の状況を把握する。
- シャトルバスを運行する場合は、乗降場所等に係員を配置するなど、高齢者や障害のある方などの乗降に配慮する。

(2) 主要駅からのルートの確認

- 車いす利用者など、歩行に困難を伴う方にとっての通行困難な場所（段差、狭い道等）を確認する。
- 主要駅から会場までの地図を用意する。

(3) 駐車場の確保

- 自家用車での参加者にとって、利用しやすく、適切な規模の駐車場を確保する。
- 身体者障害者用駐車場は、会場近くに設置する。

(4) 案内標識の設置

- 会場までスムーズにたどり着けるわかりやすいサインや看板を設置する。
- 必要に応じて、案内誘導員を配置する。

5 会場の設営

(1) 会場配置

【会場設備】

- 会場内はわかりやすいレイアウトにする。
- 会場の出入口及び会場内はスムーズに移動できるよう、段差や凸凹の解消等に配慮する。
- 混雑が予想される場所に、安全が確保できる十分なスペースがある。

【受付・案内】

- 受付・案内所は、主要な出入口付近など、わかりやすい場所に設置する。
- 受付カウンターは、子どもや車いす利用者が利用しやすいような高さにする。

【展示物等】

- 通路や視覚障害者誘導用ブロックの上、案内表示の前などには置かない。

(2) 案内表示（サイン）

【位置等】

- 施設外から会場までの誘導表示を設置する。
- 受付、案内所、トイレ、休憩スペース等主要設備の案内表示を設置する。
- 受付や案内所での提供サービス（通訳や車いすの貸出等）を明示する。

【表示方法】

- 太く大きな文字表示で、色彩をはっきりする。
- 会場の見取り図等は、子どもや車いす利用者でも見える高さに設置する。

(3) 休憩スペース・託児室等の設置

【休憩スペース】

- 会場内の利用しやすい場所に、喫煙所とは別に設置する。
- 椅子等を配置する。

【託児・授乳等スペース】

- 託児室や授乳室、親子ブースなどを設置し、子育て中の人々が気軽に参加できる環境を整える。
- 授乳スペースは、プライバシーの保護に配慮する。

【救護スペース】

- 救護体制は、イベントの規模、参加者の年齢等に配慮する。
- 救護用の設備・備品を配備する。

(4) トイレの設置

- 高齢者や障害のある方、子ども連れの方などが使いやすいよう配慮したトイレを設置する。
- 参加者数や男女の比率を考慮したトイレを設置する。

6 イベントの運営

(1) 受付・案内

【スタッフ】

- 常駐スタッフがわかるような服装や名札等の工夫をする。
- 会場内の主要な場所に配置し、障害のある方などへの案内・介助の方法について、事前にスタッフ全員で確認する。

【提供するサービス】

- 手話や筆談、外国語、介助等の要望に対応するスタッフを設置する。
- 貸し出し用の車いすやベビーカーを準備する。
- 会場内外の案内図や公共交通機関に関する情報提供を行う。

【配置】

- 最寄りの駅やバス停、会場内外の迷いやすい場所などに、必要に応じて案内や介助を行うスタッフを配置する。

【音声案内】

- 簡潔でわかりやすい表現で行い、重要な情報は確実に伝わるようにする。

(2) 非常時の対応

【避難・誘導】

- スタッフ全員で避難経路を確認する。
- 小さな子どもや高齢者、障害のある方の誘導経路を確認し、担当者を決める。
- アナウンスなどの音声情報だけではなく、文字情報でも提供できるようにしておく。

【救護】

- 看護師、保健師などの救護スタッフを配置する。
- 医療機関との連絡体制を確保する。